

岐阜市立藍川北学園で防災講座を行いました

昭和51年の9.12豪雨（安八豪雨）災害から49年にあたる令和7年9月12日（金）、岐阜市立藍川北学園で9年生28名に防災講座を行いました。学校の近くには長良川が流れており、9.12豪雨災害の浸水位標示板が立てられています。

講座では、この地域でも被害のあった伊勢湾台風や9.12豪雨災害について学習しました。また、VRによる浸水疑似体験や伊勢湾台風A1語り部との対話体験、A1防災クイズなどを通して、水害の恐ろしさや過去の大水害、ハザードマップなどについて理解を深めました。VR体験では、「絶対に生き残りたい」とどのような避難行動をとるか考え、映像も360度見回している様子があり、A1防災クイズでは、グループでなにが正解なのか考え話し合いながら回答していました。

最後に代表生徒から、「歩けなくなったり扉が開かなくなる浸水深がわかったので、早く避難したいと思いました。」との感想がありました。

今回の講座が、生徒たちの防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。なお、講座の様子は、中日新聞に取材頂きました。

